

科目名	宗教と人間（釈尊と現代） F					単位	2.0
担当教員	伊東 恵深						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4207

●授業のテーマ  
釈尊の生涯と教え

●到達目標

「釈尊の生涯と教え」を学ぶことを通して、人間として生きるものの意味、現代を生きる私たちが抱えている問題、また同朋大学で学ぶ意義について考えられるようになる。

●学習内容(授業概要)

今から2500年ほど前のインドに誕生し、「仏教」を開いた釈尊（ゴータマ・ブッダ）の生涯と教えについて、まずは基本的な知識を習得する。そのことを通して、「人間とは何か」「人として生きる（人生）とはどういうことか」ということについて考えていきたい。

大学に入って、これからどのような学びを進めるにしても、自分自身を問うということは根本的な課題である。釈尊の生涯と教えを学ぶことを通して、人間存在について、また私自身の生き方・あり方について、主体的に考える力を養いたいと思う。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 授業のガイダンス
2. 釈尊の生涯と教えに「何を」学ぶのか
3. 釈尊の生涯①—誕生—
4. 釈尊の生涯②—王宮での生活と悩み—
5. 釈尊の生涯③—出家—
6. 釈尊の生涯④—道を求めて—
7. 釈尊の生涯⑤—成道（仏陀の誕生）—
8. 釈尊の生涯⑥—梵天勧請と初転法輪—
9. 釈尊の生涯⑦—教化の旅—
10. 釈尊の生涯⑧—涅槃（入滅）—
11. 釈尊の教え①—中道—
12. 釈尊の教え②—四諦八正道—
13. 釈尊の教え③—六道輪廻を超える道—
14. 釈尊から親鸞へ
15. 総括（まとめ・テスト）

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…特に指示しない限り準備学習は必要ないが、不明な点があれば事前に調べてくること。

「事後学習」…授業で学んだ内容について、板書ノートや配布資料を読み返して復習しておくこと。

●成績評価方法・基準

①平常点（出席・受講態度など）40%、②小レポート・感想文（授業時に数回）30%、③期末試験（筆記ま

たはレポート) 30%

●テキスト (必携)

特になし (板書と配布資料によって行う)

●参考文献 / その他

授業中に随時紹介する。

●履修上の注意

1回生時の必修科目なので、休まず出席すること。出席・受講態度を重視する。  
講義中の私語、携帯電話等の使用は厳禁。複数回注意を受けた場合は、欠席扱いとする。